

PLUSAD
PRINCIPLE

プラスアドプリンシプル

2014年制定
2021年一部改定・追記

ここに私たちの「理念」・「夢」・「主義」を定める

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUS-ADO
GROUP

人との出逢いを力に いまに挑み、みらいを創ろう。

私たちは何故、はたらいているのか？

それは、自らに挑み、自分自身の可能性を知るために。

不安を乗り越え、挑戦をつづけていると新たな人と人との出逢いが生まれる。
新たな出逢いは、私たちに多様な力を与え、次の成長のステージに導いてくれる。

挑みつづけること、出逢いのエネルギーにより、
私たちは社会に役立つ多彩なものを創りだせる。

「人」、「仕事」、「笑顔」、「元気な“街”」。

いつの日か私たちの創りだす「笑顔」で、
私たちの暮らすこの「街」を元気にするという
私たちの理想を叶える日がきつとおとずれる。

人生、いつの瞬間だって挑戦なんだ。

自らの仕事に誇りを持ち、さあ、いまに挑め。

誰も知りえないみらいを、自ら創りだそう。

いまに挑み、みらいを創ろう。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUS ADO
GROUP

社会的ミッション
mission

「人を笑顔に、街を元気に。」

九州・山口エリアにおいて NO1 の人材動員力を持つ企業として、
我々が創り出すサービスによって地域社会の課題を解決し、
我々の仕事を通じて、人を笑顔に、街を元気に、
九州・日本を元気にする！

その使命の実現の為に、
いまに挑みつづけ、自ら道を創っていこう！

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUS ADO
GROUP

経営理念
management principle

- 一. お客様とはたらく人の双方の幸せを追求し、
双方に信頼される企業を目指します。
- 一. 全社員とその家族の物心両面の
幸せのために全力を尽くします。
- 一. 企業価値を高め、1人ひとりが輝く
幸せな社会の実現に貢献します。

いまに挑み、みらいを創る。

PLUS ADO
GROUP

プラスアドウェイ
私たちの価値観
PLUSAD way

人が基本。人の可能性を信じる。

私たちの全ての基本は「人」である。

人としての基本を磨くことを最も大切な教育と考え、「挨拶」・「礼節」・「感謝」・「思いやり」、基本行動習慣を大切にした上で、一人ひとりの個性を尊重し、その人が持つ可能性を最大限発揮できるよう支援し、挑戦できる環境を創り出す。

個人・仲間・会社が互いを尊重し、ともに育む。

「個人の成長は会社の成長。会社の成長は個人の成長。」

個性を尊重しながらも公の組織である会社の成長のために、ともにはたらく仲間と手を携え、支え合い、お互いを尊重し高め合いながら、一人ひとりが夢と誇りを持ち、イキイキと働ける職場環境を創り、個人も仲間も会社も、ともに育んで成長していく。

事業を通じて社会に貢献。

会社は地域社会の一員であることを自覚して行動する。

社会に認めていただける事業を展開し、挑戦を続けることで、多彩な「人」・「仕事」を創出し、「人を笑顔」に、「街」を元気」にすることを理想に掲げ、事業を通じて社会に貢献できることを常に考え続け、行動する。

いまに挑み、未来を創ろう。

PLUSAD
GROUP

プラスアドイズム

私たちの行動思考

PLUSAD ism

創業当時、初めて仕事をいただいたお客様に、手書きで感謝の手紙を添えて請求書を届けた。お客様は感動され、新しい取引先を紹介してくれた。

ある日、プレゼン中のお客様がまだ狭かった事務所に突然来社された時、社内の全員が立って挨拶し、お迎え・お見送りした。

社内の雰囲気が良いから安心して仕事を任せれるということで数社の大手競合相手から選ばれて採用された。

何かをもとめて手紙を添えたわけでもない。仕事が欲しくて立ちあがって挨拶をするわけじゃない。感謝の気持ちを伝えたかっただけであり、人として生きる上であたりまえの大切なことをしただけなのである。

この大切なことが仕事における行動・思考の基本ではないだろうか。

行動・思考の基本を大切に、コツコツと仕事を積み重ねていけば、いつか想像もしなかった大きな仕事に取り組めることになるし、きっと初めての大きな仕事でも成功に導くことが出来る。逆に、人として生きる上で大切な基本を持たずに行動していれば、たまたま大きな仕事に取り組む機会があっても、チャンスを失ったり、失敗に終わる確率が高いことは必然なのであろう。

人の生きる上で大切な基本を守って行動していれば、必ず幸運が回ってくるし、苦しい時に誰かが助けてくれると信じてよいのかもしれない。

信じて行動していたからこそ今の私たちがここにあるのだ。

私たちの行動・思考の基本をプラスアドイズム（私たちの行動思考）としてここに定める。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUSADO
GROUP

プラスアドイズム

私たちの行動思考

PLUSAD ism

● プラスアドイズムの原点

1. 人として生きる上で大切な基本「挨拶」・「礼節」・「感謝」・「思いやり」を大切に行動する。
2. 基本行動習慣を心に身につけ日々実践する。
3. 笑顔に勝る化粧はない。知力より元気。笑顔と元気で活力ある会社を創りだす。

● 常に自覚すべきプラスアドイズム

1. 私たちは、謙虚なチャレンジャーでなくてはならない。
2. スタッフに対して誠実に接し、少しでも幸せな生活を送っていただくための行動を考えなければならない。
3. 私たちの道は、今日の積み重ねの先にしかない。

● 守り続けなければならないプラスアドイズム

1. 「出来ません」という言葉は存在しない。
2. やりながら考えろ。考えて終わるな。行動者の方がカッコいい。
3. 現状を否定し、新たなサービスを創りだす。常に次のステージを目指して挑戦せよ。

● プラスアドイズムの仕事の基本・取組み

1. 良い報告より失敗の報告を大切にす何より正直な仕事をし、王道を歩む。
2. 常に「アト・・・」出来ることがないか考えて行動して、感動を創り、ファンを創ろう。
3. 「人・企業・情熱・夢」が自然に集う、究極の人材カンパニーを目指し、最強のブランドを創る。

● プラスアドイズムの人と人との結びつき

1. ともにはたらく仲間を敬い、刺激し成長する。
困難には、一人は皆のために、皆は一人のために立ち向かう。
2. 人と人との出逢いが私たちのエネルギーである。人の「縁」を大切に行動する。
3. 自分たちのプリンシプルを見つけ、プリンシプルを持って行動する。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUSAD GROUP

プラスアドイズム 私たちの行動思考

PLUSAD ism

● プラスアドイズムの原点

1. 人として生きる上で大切な基本

「挨拶」・「礼節」・「感謝」・「思いやり」を大切にする。

私たちが最も大切にする基本、それは「挨拶」・「礼節」・「感謝」・「思いやり」という、仕事だけでなく、生きる上で大切な基本を持ち続け行動することである。いつの時代も、どんなに会社が大きくなろうとも、この基本は不変である。私たちは仕事を磨くより人を磨くことを重んじて、人として生きる上で大切な基本を何より大事にしなければならない。

2. 基本行動習慣を心に身につけ日々実践する。

基本行動習慣とは、「時間を守る」・「ゴミを拾う」・「トイレを清掃する」・「整理整頓に努める」・「決めた事を守る」など、善とされるあたり前の基本行動のことである。基本行動習慣を頭の中で理解していても、実践出来ている人は少ない。忙しさにかまけて後に回し、人任せにしてしまう。ゴミを拾ったから仕事が出来るとは無い。しかし、ゴミも拾えない人に大きな仕事を任せることは出来ない。基本行動習慣を実践する人にはなぜか運も向いてくる。

3. 笑顔に勝る化粧はない。知力より元気。 笑顔と元気で活力ある会社を創りだす。

笑顔に勝る化粧は無いと思う。知力はあった方がいいが、それより元気の方が大切である。私たちはエリート集団では無い。元気な雑草集団である。私たちはどんな苦難が待ち受けようとも笑顔で向き合い乗り越えることができる仲間の集まりだ。笑顔と元気であふれる私たちの会社は、いつも活力に満ち溢れている。知力より活力がもたらしてくれるものは、はるかに大きい。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUSAD GROUP

プラスアドイズム 私たちの行動思考

PLUSAD ism

常に自覚すべきプラスアドイズム

1. 私たちは、謙虚なチャレンジャーでなくてはならない。

私たちが様々な事業に挑戦できているのも、真夏の暑い中や、雨の日も風の日も様々な現場ではたらいといただいているスタッフと多くのお客様のおかげなのです。私たちは挑戦を続けている。しかし、いつもその挑戦を支えてくれている方々のことを忘れてはいけません。私たちは、常に謙虚なチャレンジャーでなくてはならない。謙虚なチャレンジャーはカッコいい。

2. スタッフに対して誠実に接し、少しでも幸せな生活を送っていただくための行動を考えなければならない。

働いているスタッフの方には、夢を追い求めながらはたらく方、生活のために働いている方、今の就業形態を望んでいる方、正社員を望んでいるが、事情があり今の仕事についているなど様々な方がおられます。私たちはスタッフに対して、誠実に接して、その全ての方が少しでも本人の為になる就業形態に近づけるよう努力を惜しまず、より幸せに生活できるためには何ができるのかを考え、行動していかなければならない。

3. 私たちの道は、今日の積み重ねの先にしかない。

私たちの仕事は、大発明をするわけでもなく、大ヒットを出すわけでもない、日々を積み重ねる仕事である。しかし、その小さなことを積み重ね、月日をかけて大きなものに育てることが、とんでもないところへ行く唯一の道なのである。

どんな小さなことでも誠心誠意取り組み、信頼を重ねることによっていつしかだれもなし得なかったことを成し遂げることができる。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUSAD
GROUP

プラスアドイズム 私たちの行動思考

PLUSAD ism

● 守り続けなければならないプラスアドイズム

1. 「出来ません」という言葉は存在しない。

創業当初から変わらない考え方がある。私たちの理念やコンプライアンスに反すること以外、私たちの仕事に「できません」という言葉は存在しない。お客様から求められたことに関してはその要望を100%で答えるか、限りなく100%の回答に近づくよう限界ギリギリの努力を行うことが我々の成長の心の礎なのである。私たちの信条は「なせばなる、なんとかなる、なんとかします」。選択肢は、「出来るまでやる」か「出来るだけやる」の二つしかない。

2. やりながら考える。考えて終わるな。行動者の方がカッコいい。

人は失敗と苦勞の数だけ成長する。失敗を恐れ指示されるまで待つ人、考えるだけで行動しない人は苦勞も少ないが成長もしない。最初の一步を踏み出せば、誰でもできる。やりながら考えろ、やってから考えろ。やりながら見えてきた事を、カイゼンし、少しずつ成長していくのが私たちの持ち味だ。どうせなら行動者の方がカッコいい。

3. 現状を否定し、新たなサービスを創りだす。 常に次のステージを目指して挑戦せよ。

世の中は凄いスピードで変化している。いまに挑む精神で、過去の価値観・しがらみに捕らわれず、今あるものを破壊するつもりで、新たな仕事への取り組み方を創造しなければならない。仕事へのビジョンは残すが、仕組みは残さない。時代に併せ、常にカイゼンを続け、次の新たなステージを目指して行動していこう。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUSAD GROUP

プラスアドイズム

私たちの行動思考

PLUSAD ism

● プラスアドイズムの仕事の基本・取組み

1. 良い報告より失敗の報告を大切にす。 何より正直な仕事をし、王道を歩む。

失敗や起こしてしまったミスさらけ出し、反省する人は伸びる。ただし失敗やミス隠そうとすることは、同じ失敗を引き起こすし、全ての大きな問題を起こす始まりである。だから私たちは、挑戦した結果の敗者には寛大な心を持って接しセカンドチャンスを与え、失敗やミス隠そうとしたものには厳罰を与える。会社も人も、常に正直な仕事をし、王道を歩まなければならない。

2. 常に「アト・・・」出来ることがないか考えて行動し、 感動を創り、ファンを創ろう。

社名の「プラスアド」の「ド」は、常にあと「プラスアト・・・」のサービスや心遣いをお客様や仕事で関わる人に対して出来ないかを考え、妥協せず仕事に取り組む意味を持つ。「アト・・・」の仕事をするのは、負担になり大変なことだ。

しかし、「アト・・・」の行動は、相手感動させ、感謝される。そして、きっと私たちのファンになって応援してくれる。妥協することなく「アト・・・」に取り組もう。

3. 「人・企業・情熱・夢」が自然に集う、究極の笑顔と元気で 活力ある会社を創りだす。

地域に根付いた人材ビジネス企業として人が自然と集まる究極のビジネスモデルの構築を目指す。究極のビジネスモデル構築は、最強のブランド創りである。そのためには、会社・社員が日々発信するあらゆるもの、office、雰囲気、備品、一つ一つの書類や制作物、電話の受答え、社員の振る舞い、モラル全てが会社のブランドイメージに直結することを念頭に仕事に取り組まなければならない。活力ある会社には、「人・企業・情熱・夢」が自然に集い、新たな挑戦を見つけ出すことが出来る。

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUS **ADO**
GROUP

プラスアドイズム 私たちの行動思考

PLUSAD ism

● プラスアドイズムの人と人との結びつき

1. ともにはたらく仲間を敬い、刺激し成長する。 困難には、一人は皆のために皆は一人のために立ち向かう。

創業20年が過ぎ、ともにはたらく多くの仲間にもまれていて。励まし合い、ぶつかり合い会社とともに皆が成長を続けてきた。弱気の虫が出たら思い出して欲しい、今直面している問題、課題よりもっときつい「もうダメだ」、「どうしよう」があったことを。それを乗り越えられたのは、プラスアドイズムを持つ、ともにはたらく仲間がいたからだ。これからは起こる困難の際には、全員が力を併せれば乗り越えられない困難など存在しない。

2. 人と人との出逢いが私たちのエネルギーである。 人の「縁」を大切に行動する。

人を事業の中心とする私たちは、特に、人と人との繋がり、出逢い、「縁」を大切に行動し、人の可能性と出逢いが創り出すエネルギーを信じて行動しなければならない。私たちには、特別な技術、資産は何も無い。だが仕事や人生を通じて、多くの人との出逢いがあり、それが私たちのエネルギーとなって力を与えてくれる。常に良い「縁」が育てられるような環境、行動を実践する。

3. 自分たちのプリンシプルを見つけ、プリンシプルを持って行動する。

新たな出逢いの時、ビジネスベースでの付き合いを優先した場合は、相手では無く、ビジネスの中身の本質を重視して取り組むかどうか考えなければならない。一方、出会った時から、お互い相手をリスペクトしあい、対等な付き合いが始まった時に、ビジネス上にその人が関わるようなことがあった場合、そのビジネスより人を信じてみても良い。そういうお付き合いができれば相手もこちらの利益を優先してくれるビジネスが出来る。そういった関係になるためにはお互いがプリンシプルを持って付き合わなければならない。「プリンシプル (principle) = 原理・原則」難しい言葉だが全ての行動に繋がる言葉であり、心の奥に留めて行動いただきたい言葉である。

いまに挑み、みらいを創る。

PLUSADO
GROUP

1992年11月1日

20歳の学生がはじめた事業が、
今こうして、ともに はたらく多くの仲間と一緒に、
同じ理念を掲げて様々な事業に挑戦できるまでに
成長することができました。
これまでに支えていただいた方々への感謝の気持ちを
忘れることはありません。

法人設立20周年に、これまでの会社の歴史を振り返り、
この先プラスアドグループがどんな企業になっても
不変の原理原則をここに創りました。
行動・判断に迷ったり、困難が立ちはだかった時は、
このプリンシプルに立ち戻ってみてください。

**さあ、笑顔と元気で
ともにはたらく仲間と力をあわせて
今日も頑張っていきましょう!!**

いまに挑み、みらいを創ろう。

PLUS-ADO
GROUP